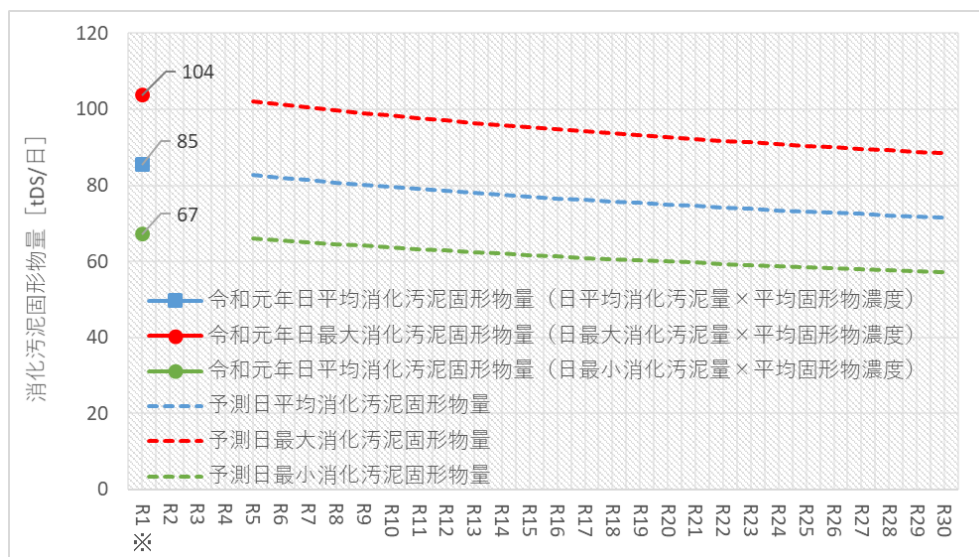
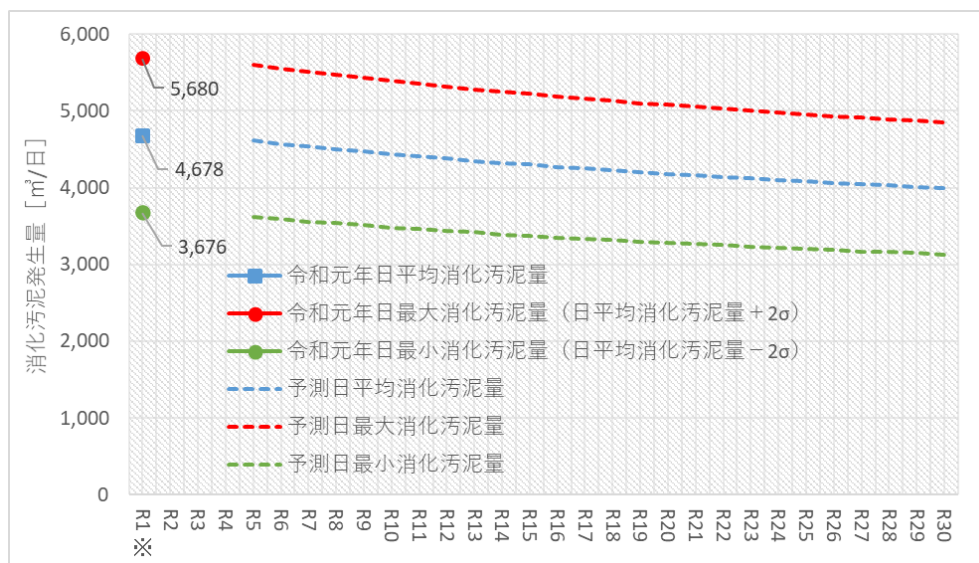




		R1 ※	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
予測日最大脱水ケーキ量	(t/日)	514	506	502	498	494	491	487	484	481	478	475	472	469	466
予測日平均脱水ケーキ量	(t/日)	429	422	419	416	413	410	407	404	401	399	396	394	391	389
予測日最小脱水ケーキ量	(t/日)	344	339	336	333	331	328	326	324	322	320	318	316	314	312
予測日最大消化汚泥固形物量	(tDS/日)	104	102	101	101	100	99	98	98	97	96	96	95	95	94
予測日平均消化汚泥固形物量	(tDS/日)	85	83	82	81	81	80	80	79	78	78	78	77	77	76
予測日最小消化汚泥固形物量	(tDS/日)	67	66	66	65	65	64	64	63	63	62	62	62	61	61
予測日最大消化汚泥量	(m³/日)	5,680	5,600	5,550	5,510	5,470	5,430	5,390	5,350	5,320	5,280	5,250	5,220	5,190	5,160
予測日平均消化汚泥量	(m³/日)	4,678	4,610	4,570	4,540	4,500	4,470	4,440	4,410	4,380	4,350	4,320	4,300	4,270	4,250
予測日最小消化汚泥量	(m³/日)	3,676	3,620	3,590	3,560	3,540	3,510	3,480	3,460	3,440	3,420	3,390	3,370	3,350	3,340

		R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	
予測日最大脱水ケーキ量	(t/日)	464	461	459	457	454	452	450	448	446	444	442	440	438	
予測日平均脱水ケーキ量	(t/日)	387	385	383	381	379	377	376	374	372	370	369	367	366	
予測日最小脱水ケーキ量	(t/日)	310	309	307	306	304	303	301	300	298	297	296	295	293	
予測日最大消化汚泥固形物量	(tDS/日)	94	93	93	92	92	91	91	90	90	90	89	89	88	
予測日平均消化汚泥固形物量	(tDS/日)	76	75	75	75	74	74	73	73	73	72	72	72	72	
予測日最小消化汚泥固形物量	(tDS/日)	61	60	60	60	59	59	59	59	58	58	58	58	57	
予測日最大消化汚泥量	(m ³ /日)	5,130	5,100	5,080	5,050	5,030	5,000	4,980	4,950	4,930	4,910	4,890	4,870	4,850	
予測日平均消化汚泥量	(m ³ /日)	4,230	4,200	4,180	4,160	4,140	4,120	4,100	4,080	4,060	4,040	4,030	4,010	3,990	
予測日最小消化汚泥量	(m ³ /日)	3,320	3,300	3,280	3,270	3,250	3,230	3,220	3,200	3,190	3,170	3,160	3,150	3,130	

※令和元年度の日平均値は実績日平均値であり、日最大値及び将来予測値の基準とする。

表中の着色部は、本事業の維持管理・運営期間の開始年度（令和 10 年度）及び汚泥炭化炉施設の事業終了年度（令和 16 年度）を示したものである。

イ 施設整備に伴う汚泥量の増加要素について

市は、水処理施設改築事業（中浜下水処理場水処理施設整備事業、海老江下水処理場改築更新事業）や合流式改善対策事業を進めている。これらの事業で汚泥量の増加について、中浜下水処理場水処理施設整備事業着手前の平成 29 年度の処水量実績をベースにこれらの事業が完成したと仮定し、汚泥量を算出した結果、平成 29 年度の実績値に比べ、年平均で 1.44%程度の増加が見込まれた。これらの施設は、令和 3 年度～令和 5 年度にかけて順次整備されることから、上記表に示す令和 6 年度以降の予想日平均脱水ケーキ量に約 5～6 t／日程度増加することが想定される。

ウ 汚泥性状将来予測

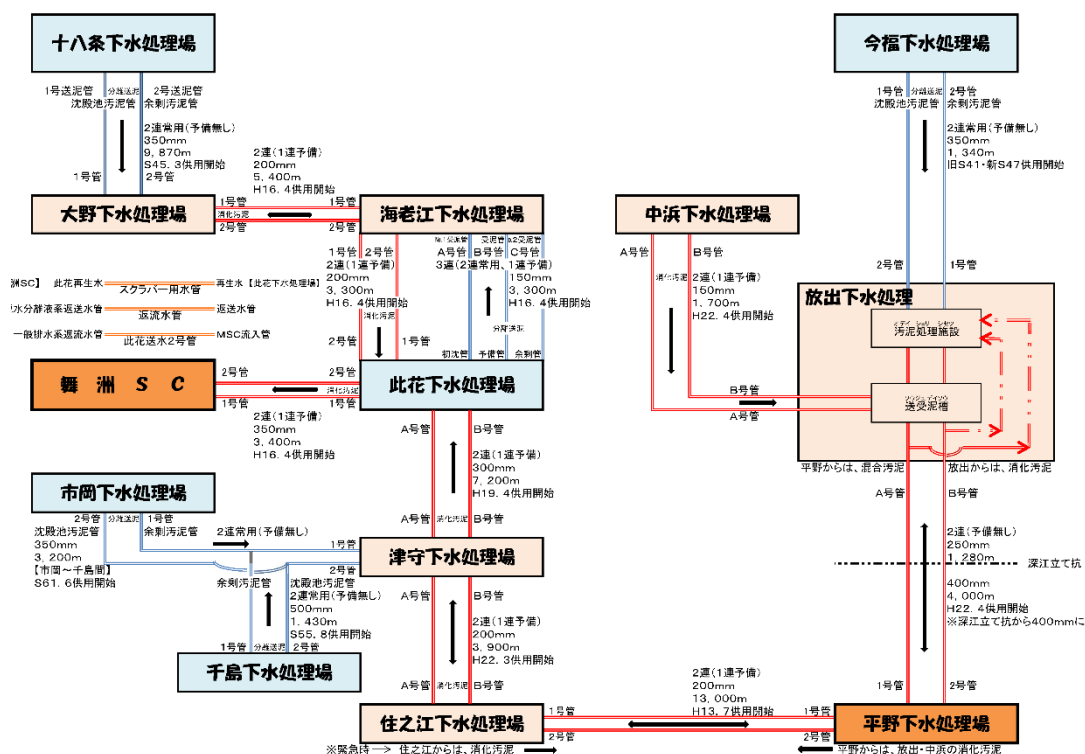
本予測は、大阪市の下水処理方式及び消化槽増設等の汚泥処理方式が現状より変更する計画が無いことから、将来も同等の性状及び変動を示すと予測し、平成 27 年度～令和元年度までの過去 5 年の汚泥成分分析値の推移から、成分分析実績値の範囲を予測値とする。

4. 送泥ネットワーク

(1) 全体フロー

送泥ネットワークと輸送能力の上限値を以下に、各下水処理場における消化汚泥の発生量実績を次頁に示す。

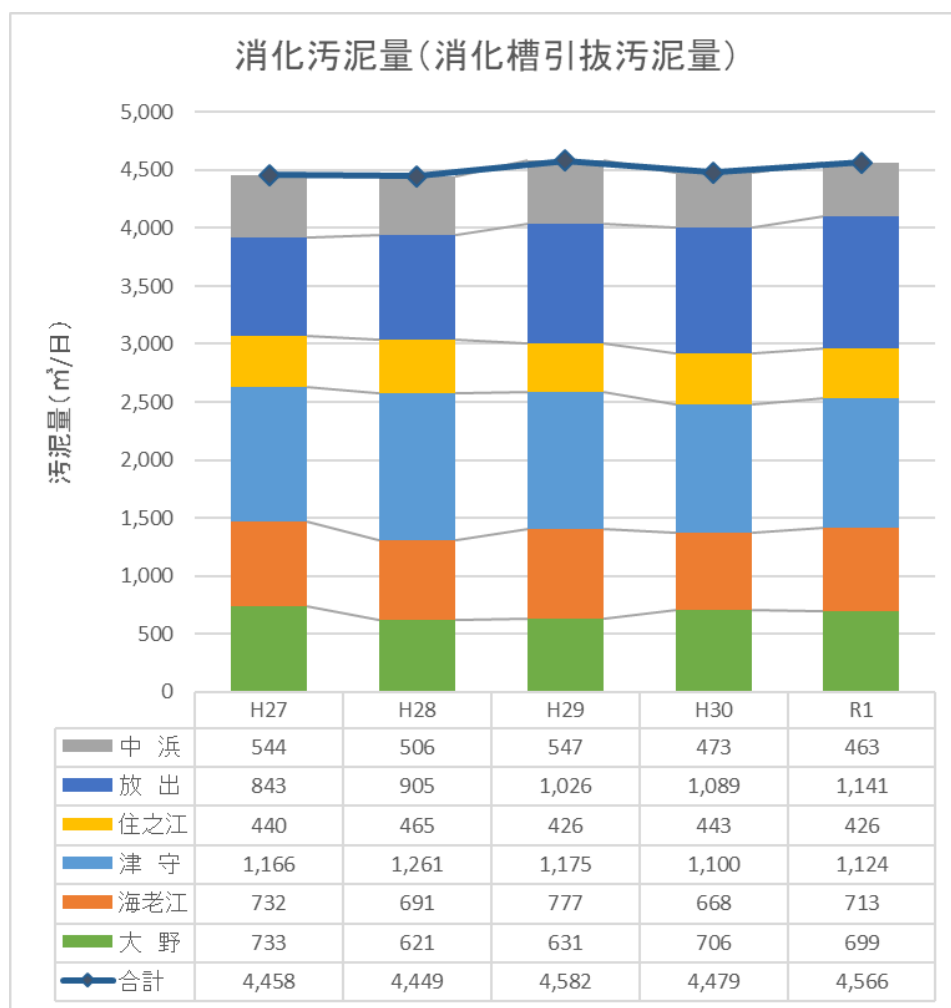
此花下水処理場では、舞洲スラッジセンターにしか送泥できないため、十八条、大野、海老江、此花で発生した汚泥は、舞洲スラッジセンターにしか送泥できないことを考慮すること。



送泥ルート	送泥ポンプ仕様(予備機除く)	瞬時最大送泥能力 (m³/日) 注 1)	備考
平野⇒住之江	0.18～1.8 m³/min×1 台	2,592	
住之江⇒津守	0.9～2.9 m³/min×1 台	4,176	
津守⇒此花	～3.4 m³/min×1 台	4,896	
此花⇒舞洲	～2.9 m³/min×2 台	8,352	
津守⇒住之江	～3.4 m³/min×1 台	4,896	
住之江⇒平野	0.9～2.9 m³/min×1 台	4,176	

注 1) 実送泥能力は、給泥槽・受泥槽水位によるポンプ起動停止時間及び輸送管の洗浄による。

(2) 処理場別消化污泥発生量実績（平成 27 年度～令和元年度）



出典)：水質管理年報 IV-2 消化槽引拔污泥量

(3) 汚泥処理施設一覧

項目				容量		機器仕様	所要数量(常用＋予備)	
							既設	既認可計画
大野	濃縮	重力濃縮	初沈	17.5	mφ	休止中 2槽	4槽	4槽
			余剰	17.0	mφ	休止中 1槽	2槽	2槽
				19.0	mφ		1槽	1槽
		機械濃縮		30	m3/h	スクリュ－濃縮機 30m3/時×4台(内予備1台)	4台	4台
	消化タンク		3,000	m3	休止中 2槽	2槽	2槽	
			5,000	m3	RC造 内径22.0m×水深13.0m2×8槽 (内休止中 1槽)	8槽	8槽	
	ガスタンク		3,000	m3	乾式ガスホルダ	1基	1基	
			5,000	m3		1基	1基	
	貯留施設		708	m3	内径15.0m×水深4.0m2×2槽	2槽	2槽	
	送泥ポンプ		250	mm	一軸偏心式ポンプ, 運転時間24時間, 0.2～1.0m3/min×121m	3台	2台	
送泥管		200	mm	ダグタイル铸铁管(大野→海老江), 計画汚泥量 1,400m3/日, 2連(内1連予備)	2連	2連		
十八条	貯留施設		-	m3		-	-	
	送泥ポンプ	初沈	250	mm	一軸偏心式ポンプ, 運転時間24時間, 3.0～3.5m3/min×70m	2台	2台	
		余剰	250	mm	一軸 偏心式ポンプ, 運転時間24時間, 3.0～3.5m3/min×78m	2台	2台	
	送泥管		350	mm	ダグタイル铸铁管(十八条→大野), 計画汚泥量 6,832m3/日, 2連常用	2連		
			250	mm	ダグタイル铸铁管(十八条→大野), 計画汚泥量 6,832m3/日, 2連常用(認可計画)		3連	
今福	貯留施設		-	m3		-	-	
	送泥ポンプ	初沈	200	mm	スクリュ－式渦巻ポンプ, 運転時間24時間, 2.5～5.0m3/min×27m	2台	2台	
		余剰	200	mm	スクリュ－式渦巻ポンプ, 運転時間24時間, 0.0～5.9m3/min×32m	2台	2台	
	送泥管		350	mm	ダグタイル铸铁管(今福→放出), 計画汚泥量 6,912m3/日, 2連常用	2連		
			250	mm	ダグタイル铸铁管(今福→放出), 計画汚泥量 6,912m3/日, 2連常用(認可計画)		2連	
150			mm	ダグタイル铸铁管(今福→放出), 計画汚泥量 6,912m3/日, 1連予備(認可計画)		1連		
中浜	濃縮	重力濃縮	初沈	17.0	mφ	初沈・余剰と共用(合計3槽)	1槽	1槽
			余剰	17.0	mφ		2槽	2槽
		機械濃縮		30	m3/h	遠心濃縮機, ベルトろ過濃縮機, 30m3/h時×3台(内予備1台)	3台	3台
	消化タンク		3,600	m3	RC造 内径19.6m×水深12.0m2×4槽 (内休止中 0槽)	4槽	4槽	
	ガスタンク		2,000	m3	乾式ガスホルダ	2基	2基	
	貯留施設		82	m3	RC造円形タンク, 内径4.3m×水深6.7m2×3槽	3槽	3槽	
	送泥ポンプ		150	mm	一軸偏心式ポンプ, 運転時間24時間, 0.15～1.2m3/min×39m	2台	2台	
送泥管		150	mm	ダグタイル铸铁管(中浜→放出), 計画汚泥量 733m3/日, 2連(1連予備)	2連	2連		
放出	濃縮	重力濃縮	初沈	17.5	mφ	休止中 1槽	2槽	2槽
			余剰	17.5	mφ	4槽(休止中 0槽)	4槽	4槽
		機械濃縮		30	m3/h	スクリュ－濃縮機, 0.45DSt/h(30m3/h)×5台(内予備 1台)	5台	6台
	消化タンク		3,000	m3	休止中 3槽(H22から)	3槽	3槽	
			5,000	m3	RC造 内径19.5m×水深13.3m2×5槽 (内休止中 0槽)	5槽	5槽	
	ガスタンク		2,000	m3	乾式ガスホルダ	1基	1基	
			3,300	m3		1基	1基	
	貯留施設		680	m3		2槽	1槽	
	送泥ポンプ		250	mm	一軸偏心式ポンプ, 運転時間24時間, 0.29～2.9m3/min×68m	2台	2台	
	送泥管		250	mm	ダグタイル铸铁管(放出→平野), 計画汚泥量 800m3/日, 2連(1連予備)	2連	2連	

項目				容量		機器仕様	所要数量(常用+予備)	
						設備名称	既設	既認可計画
平野	濃縮	重力濃縮	初沈	17.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
			余剰	18.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
		機械濃縮	30	m ³ /h		-	4台	
	消化タンク		4,500	m ³		-	4槽	
	ガスタンク		3,000	m ³		-	2基	
	汚泥脱水機	30	m ³ /h		-	3台		
		30	m ³ /h	40m ³ /h×4台(内予備1台)	-	3台		
		40	m ³ /h		4台	-		
	熔融炉		150	t/日	33DSt/日(150t/日)	1基	1基	
	炭化炉		150	t/日	42.7DSt/日(150t/日)	1基	1基	
	貯留施設		350	m ³	RC造矩形タンク、巾10m×長10m×有効水深3.5m	2槽	2槽	
	送泥ポンプ	一住之江	250	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、0.18～1.8m ³ /min×160m	1台	1台	
		一放出	250	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、0.23～2.3m ³ /min×60m	2台	2台	
	送泥管	一住之江	200	mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 1000m ³ /日、2連(1連予備)	2連	2連	
		一放出	250	mm	ダグタイル铸铁管、1連常用	1連	1連	
住之江	濃縮	重力濃縮	初沈	15.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
			余剰	15.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
		機械濃縮	30	m ³ /h	0.45DSt/h(30m ³ /h)×2台(内予備1台)	2台	3台	
	消化タンク	3,000	m ³	RC造 内径19.6m×水深10.0m2×4槽 (内休止中 4槽)	4槽	4槽		
		5,000	m ³	RC造 内径22.0m×水深13.5m2×1槽 (内休止中 0槽)	1槽	1槽		
		6,500	m ³	RC造 内径25.0m×水深14.6m2×2槽 (内休止中 0槽)	2槽	2槽		
	ガスタンク	2,000	m ³	乾式ガスホルダ	1基	1基		
		2,200	m ³		1基	1基		
	貯留施設		736	m ³	RC造矩形タンク、巾14.5m×長14.5m×有効水深3.5m、1槽	1槽	2槽	
	送泥ポンプ		200	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、0.90～2.9m ³ /min×180m	3台	2台	
	送泥管		200	mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 963m ³ /日、2連(1連予備)	2連	2連	
千島	貯留施設		-	m ³		-	-	
	送泥ポンプ	初沈	200	mm	無閉塞型ポンプ、運転時間24時間、～3.5m ³ /min×15m	2台	2台	
		余剰	150	mm	スクリュウ型ポンプ、運転時間24時間、～3.5m ³ /min×15m	2台	2台	
	送泥管	500	mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 2,026m ³ /日、2連常用	2連			
250		mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 2,026m ³ /日、3 連(1連予備):認可計画		3連			
市岡	貯留施設		-	m ³		-	-	
	送泥ポンプ	初沈	100	mm	スクリュウ型ポンプ、運転時間24時間、～3.5m ³ /min×22m	2台	2台	
		余剰	150	mm	スクリュウ型ポンプ、運転時間24時間、～3.5m ³ /min×23m	2台	2台	
	送泥管	350	mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 1,728m ³ /日、2連常用	2連			
		250	mm	ダグタイル铸铁管、計画汚泥量 1,728m ³ /日、3連(1連予備):認可計画		3連		

項目			容量		機器仕様	所要数量(常用+予備)		
					設備名称	既設	既認可計画	
此花	(海老江送り)	貯留施設	初沈	75	m3	RC造矩形タンク	1槽	1槽
			余剰	75	m3	RC造矩形タンク	1槽	1槽
		送泥ポンプ	初沈	100	mm	スクリー型ポンプ、運転時間24時間、～1.1m3/min×52m	2台	2台
			余剰	250	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、～2.9m3/min×46m	3台	2台
		送泥管		150	mm	ダグタイル鋳鉄管、計画汚泥量 550m3/日(沈殿池汚泥)、1,300m3/日(余剰汚泥)、3連(1連予備)：認可計画	3連	3連
	(舞洲送り)	貯留施設		442	m3	RC造矩形タンク	2槽	3槽
				355	m3	RC造矩形タンク	1槽	
		送泥ポンプ		250	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、～2.9m3/min×46m	3台	3台
			送泥管	350	mm	ダグタイル鋳鉄管、計画汚泥量 4,900m3/日、2連(1連予備)：認可計画	2連	2連
海老江	濃縮	重力濃縮	初沈	17.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
			余剰	16.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	3槽
		機械濃縮	初沈	30	m3/h			
			余剰	30	m3/h	ベルトろ過濃縮機、0.45Dst/h(30m3/h)×3台(内予備1台)	3台	9台
		消化タンク		3,000	m3	RC造 内径19.6m×水深10.0m2×5槽 (内休止中 0槽)	5槽	6槽
	ガスタンク		1,800	m3	乾式ガスホルダ	2基	2基	
	貯留施設		180	m3	RC造矩形タンク、巾4.6m×長4.2m、1槽	2槽	2槽	
	送泥ポンプ		200	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、～1.5m3/min×75m	3台	3台	
	送泥管		200	mm	ダグタイル鋳鉄管、計画汚泥量 2,600m3/日、2連(1連予備)	2連	2連	
	津守	濃縮	重力濃縮	初沈	26.0	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽
余剰				17.5	mφ	2槽(休止中 0槽)	2槽	2槽
機械濃縮			40	m3/h	0.6DSt/h(40m3/h)×4台(内予備1台)	4台	4台	
消化タンク		3,000	m3	RC造 内径19.6m×水深10.0m2×5槽 (内休止中 0槽)	5槽	6槽		
		5,000	m3	RC造 内径22.0m×水深13.0m2×2槽 (内休止中 0槽)	2槽	2槽		
ガスタンク		4,000	m3	乾式ガスホルダ	1基	1基		
		2,000	m3		1基	1基		
貯留施設		580	m3	RC造矩形タンク、巾15m×長15m×有効水深2.7m、1槽	1槽	2槽		
送泥ポンプ		250	mm	一軸偏心式ポンプ、運転時間24時間、～3.4m3/min×74m	2台	2台		
送泥管		300	mm	ダグタイル鋳鉄管、計画汚泥量 1,500m3/日、2連(1連予備)	2連	2連		
舞洲	汚泥脱水機		60	m3/h	60m3/h×5台(内予備1台) 脱水分離液処理施設(アンモニアストリッピング方式)：5,400m3/日	5台	6台	
	溶融炉		150	t/日	33DSt/日(150t/日)×5基	5基	6基	

(4) 此花 - 舞洲スラッジセンター 送泥運転パターン表

此花－舞洲スラッジセンター 送泥運転パターン表

1 号送泥管	送泥	消化汚泥の送泥
	水置換	送泥管内を再生水に置換
	洗浄	再生水にて送泥管内を洗浄（ピグ含む）
	泥置換	送泥管内を消化汚泥に置換
2 号送泥管	送泥	1 号送泥管と同様
	水置換	
	洗浄	
	泥置換	

1 号送泥管からの消化汚泥は 1-1、2-1 受泥槽へ、2 号送泥管からの消化汚泥は 2-1、2-2 受泥槽へ送る。洗浄・泥置換時の再生水は、一般排水系返流水槽へ送る。

運転制御に必要となる負荷（自動弁等）は以下のとおりである。

盤	負荷名	台数	仕様（形式、電源電圧、電動機容量等）
①	ピグ回収装置流入弁	2 台	電動仕切弁、3 φ 400V 60Hz、0.4kW
	ピグ回収装置バイパス弁	2 台	
	ピグ回収装置流出弁	2 台	
	受泥流量計元弁	2 台	
	受泥流量計バイパス弁	2 台	
	受泥管投入弁	2 台	
	ピグ洗浄水排水弁	2 台	
	受泥槽入口弁	4 台	仕切弁（全開全閉リミットスイッチ付）
②	再生水槽給水弁	2 台	電動仕切弁、3 φ 400V 60Hz、0.4kW

① 2 号受泥槽投入弁現場操作盤、② 再生水槽現場操作盤 上記負荷はすべて既設

5. 主要機器リスト

既設利用及び一部改築となる機器の所掌範囲の区分、及び令和 2 年度策定のストックマネジメント計画について以下にまとめて示す。

§1 舞洲スラッジセンター

(1) 送受泥施設（機械設備）

大分類	中分類	小分類	機器名称	機種	機器仕様	改築更新	既設利用	運転管理	保守管理	修繕	備考
汚泥処理設備	汚泥脱水設備	汚泥供給ポンプ	No.1 受泥槽排水ポンプ (D108-1)	水中モーターポンプ（着脱式）	着脱式水中モーターポンプ、250A×6.0m3/min×15m	○	—	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥脱水設備	汚泥供給ポンプ	No.2 受泥槽排水ポンプ (D108-2)	水中モーターポンプ（着脱式）	着脱式水中モーターポンプ、250A×6.0m3/min×15m	○	—	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥貯留設備	機械式かはん機	1号 受泥槽攪拌機No.1-1 (D105-1-1)	攪拌機（立形バルド式）	立形バルド式 容量：125m3 7.5kW	○	—	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥貯留設備	機械式かはん機	2号 受泥槽攪拌機No.1-2 (D105-1-2)	攪拌機（立形バルド式）	立形バルド式 容量：125m3 7.5kW	○	—	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥貯留設備	機械式かはん機	2号 受泥槽攪拌機No.2-1 (D105-2-1)	水中ミキサー（立形バルド式）	立形バルド式(水中ミキサー)、攪拌容量1250m3	○	—	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥貯留設備	機械式かはん機	2号 受泥槽攪拌機No.2-2 (D105-2-2)	水中ミキサー（立形バルド式）	立形バルド式(水中ミキサー)、攪拌容量1250m3	○	—	○	○	○	
付帯設備	配管類	送泥	ビグ回収装置 (D112)	ビグ回収装置（クイックドア式）	クイックドア式回収装置、口径350A、設計圧力0.74MPa	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	1号受泥槽投入弁No.1-1 (D102-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	1号受泥槽投入弁No.1-2 (D102-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	2号受泥槽投入弁No.2-1 (D101-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	2号受泥槽投入弁No.2-2 (D101-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 ビグ回収装置バイパス弁 (D109-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 ビグ回収装置流出弁 (D110-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 ビグ回収装置流入弁 (D111-1)	電動仕切弁	電動仕切弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 ビグ洗浄排水弁 (D102-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、300A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 受泥流量計バイパス弁 (D104-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.1 受泥流量計元弁 (D103-1)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、300A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 ビグ回収装置バイパス弁 (D109-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 ビグ回収装置流出弁 (D110-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 ビグ回収装置流入弁 (D111-2)	電動仕切弁	電動仕切弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 ビグ洗浄排水弁 (D102-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、300A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 受泥流量計バイパス弁 (D104-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、350A	—	○	○	○	○	
付帯設備	配管類	電動弁	No.2 受泥流量計元弁 (D103-2)	電動弁（偏心構造弁）	電動偏心構造弁、300A	—	○	○	○	○	

(2) 太陽光発電設備・送泥ネットワーク設備（電気設備）

大分類	中分類	小分類	機器名称	機種	機器仕様	改築更新	既設利用	運転管理	保守管理	修繕	備考
電気計装設備	受変電設備	変圧器盤	1 0 0 k Wパワーコンディショナ	パワーコンディショナ（箱体、自立）	箱体、自立	—	○	—	—	○	
電気計装設備	受変電設備	変圧器盤	No.2 400V タイトランス盤	タイトランス盤（箱体、自立）	箱体、自立	注1	○	—	—	—	
電気計装設備	受変電設備	低圧主幹盤	太陽電池モジュール	太陽電池モジュール		—	○	—	—	—	
電気計装設備	受変電設備	低圧主幹盤	太陽光発電設備信号中継盤	太陽光発電設備信号中継盤（箱体、壁掛形）	箱体、壁掛形	—	○	—	—	—	
電気計装設備	受変電設備	変圧器盤	400V タイトランス盤	タイトランス盤（箱体、自立）	箱体、自立	注1	○	—	—	—	
電気計装設備	監視制御設備	プロセスコントローラ	送受泥監視サーバー	サーバー（箱体、自立、監視用）	箱体、自立	—	○	—	—	—	注2
電気計装設備	監視制御設備	監視盤	送泥ネットワーク監視設備装置（モニタ）	監視設備装置（モニタ） 箱体、デスク形	箱体、デスク	—	○	—	—	—	注2

注1) 事業者が整備する受変電設備の仕様により不要な場合は撤去する。

注2) 当該機器への無停電電源の整備・供給は事業者整備範囲に含む。